

未来の成長を担う中小・スタートアップへの金融機関の新たな伴走支援

お気軽に
ご参加ください

**参加
無料**

中小企業経営者、中小企業支援者(金融機関、中小企業診断士、支援機関等)

経営者と中小企業支援者の ためのセミナー

政府は「スタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する」ことを打ち出しており、金融機関の役割がますます重要となっています。特に、現在 VUCA(不確実性、不安定性、複雑性、曖昧性)の環境下で少子高齢化・人口減少、国際情勢流動化、カーボンニュートラルなどが中小企業に新たな課題をもたらしています。こうした課題に対応するためには、中小・スタートアップへの資金供給が不可欠であり、その鍵を握るのが金融機関からの融資です。



合同会社 イノチテラス
代表 浅原聡子



モデレーター
日本知財学会経営デザイン分科会代表幹事
近藤泰祐

講師

一般社団法人
日本金融人材育成協会会長

森 俊彦氏

東京大学経済学部卒、同年日本銀行入行、金融機構局審議役などを経て金融高度化センター長。現在、中小機構「中小企業応援士選定委員会」委員長、足利銀行取締役、西尾信用金庫理事、住友生命社外委員、マネジメントパートナーズ経営顧問を兼務。著書「地域金融の未来」(中央経済社) 経済産業省「ローカルベンチマーク活用戦略会議」委員、内閣府「知財のビジネス価値評価検討タスクフォース」委員、中小企業庁「事業環境変化対応型支援事業」座長など。

時 間

プログラム

18:00
~
20:00

1. イントロダクション・経営デザインシートとは・・・近藤泰祐
2. 地域金融機関における経営デザインシートの活用・・・森 俊彦
3. 活用事例紹介・・・事例紹介動画
4. ディスカッション・・・森 俊彦、浅原聡子
5. 地域金融機関におけるスタートアップ支援の目指すべき姿・・・森 俊彦

セミナーのお申し込みは、以下の URL もしくは QR コードを読み込み、参加フォームにご入力ください。

開催日時

2024年3月21日(木) 18:00~20:00

開催方法

会場での対面と Webex Meeting(オンライン)のハイブリッド方式のセミナーです。

定 員

60人(会場30人、オンライン30人)

応募フォーム

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/9a250364804723>



オンラインでご参加の際は、フルネーム、音声OFF、画面OFF でご参加ください。ご質問は、チャットにて受付いたします。

セミナー会場

TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前
5階カンファレンスルーム 5A



広島県広島市南区大須賀町 13-9

【主 催】中国経済産業局 【協 力】(一財)知的財産研究教育財団・知的財産教育協会・知的財産管理技能士会

【対 象】中小企業の経営者、金融機関/中小企業診断士/支援機関の担当者等の方で融資先・支援先の課題把握、強みを活かした支援を行いたい方

申込締切

2024年3月18日(月)

(定員に達次第、申込みを終了いたします)

お問合せ

(株)TSSプロダクション
知的財産web動画 もうけの花道 宛
E-mail: mouke@tss-pro.co.jp

【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただいた個人情報については、第三者への開示は法令に基づく開示など特別な場合を除き、本講座以外には使用致しません。また、参加者名簿として講師と共有します。

社会課題解決に向けた 新規事業創造と経営デザインシート



当てはまる方はぜひセミナーにご参加ください!

- ☒ KDSの正しい使い方を知りたい
- ☒ 「クライアントのありたい姿」の引き出し方を知りたい
- ☒ 金融機関がどのようにKDSを活用すればよいかわかりたい
- ☒ 実際にKDSを活用した経営者が何を感じたかわかりたい
- ☒ KDSによってどのような経営課題が解決できるかわかりたい
- ☒ 支援者がどのようにKDSを使いこなしているかわかりたい

1. 経営デザインシートを用いた資金調達の実例

セミナーでは、実際に経営デザインシートを活用し、金融機関から無担保で資金調達が成功させたスタートアップの事例を動画で紹介し、これにより、経営デザインシートの活用法や成功のポイントを学ぶことができます。

2. 中小・スタートアップ企業が抱える課題と解決

現実のビジネス環境において直面する中小・スタートアップの課題に焦点を当て、地域金融機関が果たすべき役割を共有します。

特に、金融機関がスタートアップ企業に対して伴走支援を行う重要性を強調します。

3. 地域金融機関とスタートアップ企業の新しい関係性

中小・スタートアップ企業と地域金融機関の相互理解が、地域経済の発展に貢献する可能性があります。セミナーでは、この新しい関係性を構築し、持続可能な成長を促進する方法について考察します。

こんなことができるように! セミナー受講のメリット

経営の「真の課題」を捉える



表面的な課題ではなく、会社のありたい姿に向けた真の課題の捉え方がわかる

コンサルのレベルUP



従来の課題解決型支援から、課題設定型伴走支援へとレベルを高めるヒントを得られる

融資先への真の支援



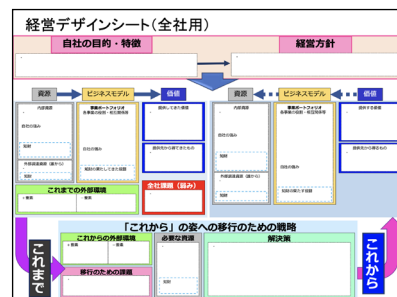
融資先の強みを活かした将来のビジネス構想の実現に向けた支援の在り方がわかる

経営デザインシート(KDS)とは?

企業等が、将来に向けて持続的に成長するために、将来の経営の基幹となる価値創造メカニズム(資源を組み合わせる企業理念に適合する価値を創造する一連の仕組み)をデザインして在りたい姿に移行するためのシートです。現在、多くの企業や団体が活用しており、内閣府のHPでその活用事例が紹介されています。2021年に入ってから、「事業再構築補助金」や「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の公募要領において事業計画の作成に際し活用することが推奨されています。

内閣府「経営をデザインする(知財のビジネス価値評価)」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html



経営デザインシートを活用する効果

【思考補助ツールとして】

- 自社(又は作成者)が考えるべき、明確化すべき部分に気づくことができる
- 言語化することで、頭の整理ができ、将来像が明確化できる
- 新規事業の構想・実現に、各人の意見やアイデアを整理することに役立つ
- 支援先企業の事業を深く理解することに役立つ
- 支援先企業と一緒に課題や将来について考えることができる

【対話のツールとして】

- 関係者(社員、金融機関、協業先、支援者等)と目指す方向が共有できる
- シートが1枚で完結しているので、社内外に説明しやすい
- 事業承継において焦点を絞って議論ができる
- 社外から新鮮な意見が得られて自社の強みや課題、将来像が明確になる
- 対話の共通基盤となり、支援先企業と議論が深まる